

2017年4月13日(木)

## 協和エクシオ、海外事業強化の一環として ベトナムのIBS事業新会社の株式取得に向けた契約を締結

株式会社協和エクシオ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小園文典）は、ベトナムにおける事業参入および展開強化を目的に、同国内で IBS（In-Building System：ビル内システム）事業<sup>\*</sup>を展開する ACOM（エイコム） INVESTMENT CORPORATION（本社：ベトナム・ハノイ、社長：Le Phu Thi（レ・フー・ティ）、以下「ACOM 社」）が設立する IBS 事業の新会社の発行する普通株式（所有割合 36.5%）を取得することで同社と合意し、4月12日付で株式購入契約を締結しましたのでお知らせいたします。

### 1. 契約締結の背景と目的

当社は、「グループ総力を結集し、トータルソリューションで新たな成長ステージへ」の中期ビジョンのもと、情報通信インフラの構築をはじめとした通信インフラ事業に加え、グローバル事業の拡大にも取り組んでおります。

東南アジアではフィリピンにおいて MG EXEO NETWORK, INC.（連結子会社）が 1991 年から事業を展開しておりますが、ASEAN 諸国の中でも高い経済成長率を示し、有望な市場であるベトナムへの事業参入および展開を強化してまいります。

ACOM 社は主たる事業である IBS 事業ならびに携帯アプリケーション事業により成長してきたベトナムのベンチャー企業であり、IBS 事業においては同国主要携帯オペレータ 3 社（Vinaphone、Viettel、MobiFone）に対してサービスを提供し、さらなる拡大に取り組んでおります。

当社と ACOM 社はベトナム市場における IBS 事業ならびに今後のビジョンをお互いに共有し、強いパートナーシップのもと、さらなる事業拡大を目指すことで合意しました。

今回の提携を機に、当社はこれまで通信インフラ事業で長年培ってきた技術と品質に加え、トータル ICT ソリューションの提供により、現地パートナーである ACOM 社とともに、ベトナムのさらなる通信環境の発展に貢献してまいります。

### 2. 事業参画の内容

ACOM 社から IBS 事業を移管した事業会社が発行する普通株式の 36.5%を取得することにより、ACOM 社とともにベトナムにおける IBS 事業を展開します。当社は ACOM 社を戦略的パートナーとして位置付け、トータル ICT ソリューションを提供するための人的・技術的なサポートを行います。

なお、株式取得につきましては、ベトナム国における法的手続きなどが完了する 2017 年 12 月を予定しています。

### 3.ACOM 社の概要

名称	ACOM INVESTMENT CORPORATION
所在地	No. 308, Block A, 352 Giai Phong Street, Thanh Xuan District, Hanoi, Socialist Republic of Vietnam
代表者の役職・氏名	社長:レ・フー・ティー (Mr. Le Phu Thi, General Director)
主な事業内容	IBS 事業 携帯アプリケーション付加価値サービス事業
資本金	100,000,000,000 ベトナムドン
設立年月日	2001年2月12日

### 4.今後の展開

今回の株式購入契約の締結により、ベトナムでの事業参画の機会を得たことから、新会社設立後は IBS 事業をベースに更なる拡大を図ってまいります。当社の今期業績に与える影響は軽微です。

#### ※ IBS 事業

In-Building System (ビル内システム) 事業の略で、大規模ビル内において共用アンテナ等の通信設備を自前で構築し、複数の携帯オペレータに利用してもらうことで、通信事業者から設備使用料を受け取るビジネスモデル。



写真は、ベトナム国での株式購入契約の締結を終えて  
(写真右から、当社代表取締役社長の小園、ACOM 社のレ・フー・ティー社長・レ・ハイ・ナム副社長)

本資料に関する報道機関からのお問い合わせ先  
株式会社 協和エクシオ

〒150 - 0002 東京都渋谷区渋谷 3 - 29 - 20 総務部 CSR・広報室  
電話 : 03 - 5778 - 1075 (直) FAX : 03-5778-1228  
担当 : 望月 政広